

平成30年

上砂川町議会議録

第1回臨時会

上砂川町議会

上砂川町議会会議録目次

| | |
|------------------|---|
| 出席議員 | 1 |
| 説明のため出席した者 | 2 |
| 事務局職員出席者 | 2 |

平成30年第1回臨時会

(1月19日)

| | |
|--|---|
| 議事日程 | 3 |
| 会議録署名議員 | 3 |
| 開会の宣告 | 3 |
| 開議の宣告 | 3 |
| 会議録署名議員指名について | 3 |
| 会期決定について | 3 |
| 新年の挨拶 | 3 |
| 議案第 1号 平成29年度上砂川町一般会計補正予算(第5号)(原案可決) | 5 |
| 閉会の宣告 | 7 |

出席議員

| 議席 番号 | 氏 名 | 1 臨 |
|----------|------|------|
| | | 1.19 |
| 1 | 小澤一文 | ○ |
| 2 | 越前等 | ○ |
| 3 | 伊藤充章 | ○ |
| 4 | 吉川洋 | ○ |
| 5 | 数馬尚 | ○ |
| 6 | 堀内哲夫 | ○ |
| 7 | 横溝一成 | ○ |
| 8 | 高橋成和 | ○ |
| 9 | 大内兆春 | ○ |

説明のため出席した者

| 役 職 名 | 氏 名 | 1 臨 |
|----------------------------|---------|------|
| | | 1.19 |
| 町 長 | 奥 山 光 一 | ○ |
| 副 町 長 | 林 智 明 | ○ |
| 教 育 長 | 飯 山 重 信 | ○ |
| 監 査 委 員 | 横 林 典 夫 | ○ |
| 議 会 事 務 局 長 監 査 事 務 局 長 | 内 野 博 之 | ○ |
| 総 務 課 長 | 米 田 淳 一 | ○ |
| 企 画 課 長 | 浅 利 基 行 | ○ |
| 建 設 課 長 | 佐 藤 康 弘 | ○ |
| 建 設 課 技 師 長 | 三 原 浩 明 | ○ |
| 住 民 課 長 | 斉 藤 昭 彦 | ○ |
| 福 祉 課 長 | 扇 谷 洋 子 | ○ |
| 税 務 出 納 課 長 | 西 村 英 世 | ○ |
| 教 育 次 長 | 斉 藤 琢 也 | ○ |

事務局職員出席者

| 職 名 | 氏 名 | 1 臨 |
|-------------|---------|------|
| | | 1.19 |
| 議 会 事 務 局 長 | 内 野 博 之 | ○ |
| 書 記 | 藤 本 沙 希 | ○ |

平成 3 0 年

上砂川町議会第 1 回臨時会会議録（第 1 日）

1 月 1 9 日（金曜日）午前 1 0 時 0 0 分 開 会
午前 1 0 時 2 4 分 閉 会

○議事日程 第 1 号

- 第 1 会議録署名議員指名について
- 第 2 会期決定について
1 月 1 9 日 1 日間
- 第 3 議案第 1 号 平成 2 9 年度上砂川
町一般会計補正予算（第 5 号）

○会議録署名議員

4 番 吉 川 洋
7 番 横 溝 一 成

◎開会の宣告

○議長（大内兆春） おはようございます。ただいまの出席議員は 9 名です。

理事者側につきましては、全員出席しております。

定足数に達しておりますので、平成 30 年第 1 回上砂川町議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

（開会 午前 1 0 時 0 0 分）

◎開議の宣告

○議長（大内兆春） 直ちに本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員指名について

○議長（大内兆春） 日程第 1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 124 条の規定によって、4 番、吉川議員、7 番、横溝議員を指名いたします。よろしく願います。

◎会期決定について

○議長（大内兆春） 日程第 2、会期決定について議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大内兆春） 異議なしと認めます。

よって、会期は、本日 1 日に決定しました。

◎新年の挨拶

○議長（大内兆春） ここで、平成 30 年を迎え初めての議会でございますので、町長からご挨拶をいただきたいと思っております。

○町長（奥山光一） 議長のご指示がありましたので、平成 30 年、新年初議会に当たり、年頭のご挨拶を申し上げます。

改めて皆さん、明けましておめでとうございます。議員各位におかれましては、輝かしい初春をご家族おそろいで健やかに迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年を顧みますと、九州北部豪雨災害を初めとする大規模な自然災害や北朝鮮のミサイル発射など住民の安全、安心を脅かす事案が多く発生し、私たちは常に緊張感を持ち、有事への備えと対応強化に心がけなければならないと考えているところであります。

さて、第 2 次安倍政権が発足し 5 年、日本経済はアベノミクスにより株価の高騰など好景気と言われておりますが、地方経済や私たち国民生活に

においてはその効果がいまだに実感できない状況にあります。そのような中、昨年10月の衆議院総選挙において引き続き自公連立による政権運営となり、この自公連立政権のもと新しい政策の流れがつけられておりますが、真に私たち一人一人が豊かさを実感し、安心して生活できるものとなることを大いに期待をしております。

国の平成30年度の予算フレームが昨年12月22日に閣議決定されました。内容は、高齢化の進展に伴う社会保障費の増嵩や防衛費の増加などにより過去最大の97兆7,000億円の予算規模となっております。本町の財政運営の根幹となります地方交付税につきましては、入り口ベースでは15兆5,000億と前年度比0.3%の減ではありますが、出口ベースにおいては16兆円と前年度比2%、3,000億円程度の減となっております。地方一般財源は、地方税の増収により前年度を上回る62兆1,000億円が確保されましたが、税収の伸長が望めない本町にあってはこれらがどのような影響があるのか大変懸念されるところであり、依然として厳しい財政状況にあるというふうに言えるかと思いません。

ご承知のとおり、人口減少や少子高齢化問題は本町の最重要課題であり、町政運営に大きく影響を及ぼすもので、課題解決に向けた対応は待ったなしの状況にあります。人口減少、少子高齢化等危機突破に向け、第7期の町づくり総合計画やまち・ひと・しごと総合戦略のもとシェアハウスやまちの駅ふらっとの整備、多子世帯の保険料の軽減、学力向上のための教育環境整備、高齢者の健康増進のための高齢者特定健診の健診項目の拡充と健診料の軽減など少子高齢化対策支援の充実、強化にも努めてまいりました。さらに、民間賃貸住宅の建設も始まるなど人口減少の抑制と交流人口の増加、さらには若者の移住、定住など持続可能な活力ある町づくりのための基礎づくりができたものと考えております。この基礎、基盤をもとに本町の置かれている状況をしっかりと認識し、

何が求められ、何をしなければならないのか、その効果も含め、これからも職員と一丸となって試練に立ち向かい、厳しい中にも町民の皆さんがこの町で安心して暮らせる町づくりに全力を傾注する所存であります。

現在平成30年度の予算編成作業を進めておりますが、依然として厳しい財政状況にあり、さらに平成31年度以降の地方一般財源の動向が不透明な状況にありますことから、今後の国の動向や制度改革等の情報収集に努め、夢と希望が持てる上砂川町の創生のために何事にも積極的に挑戦していきたいというふうに考えております。平成30年度当初予算につきましては、ご承知のとおり本年4月に町長選挙を控えておりますことから、経常経費のみの骨格予算となりますが、町民の皆さんの生活を守るべき必要な予算については予算づけに努めてまいります。

人口減少という大きな行政課題を抱え、行政各般にわたり地域振興対策が求められており、広域行政も視野にこれまで築き上げた土台をもとにさらなる飛躍のための年として本年は重要な年となるというふうに考えております。

改めて私の任期もこの4月の22日で満了となります。町長就任以来議員各位のご協力により多くの課題解決に向けた施策の推進に取り組まさせていただきました。これまでのご厚情に感謝を申し上げますとともに、残された期間町の振興、発展に尽くしてまいります所存でありますので、引き続き議員各位のご協力をお願い申し上げます。年頭に当たっての挨拶とさせていただきます。本年もまたよろしく願いいたします。

○議長（大内兆春） 私からも一言ご挨拶を申し上げます。

改めまして、皆さん、明けましておめでとうございます。議員各位、理事者の皆様方におかれましては、平成30年の輝かしい新春をご家族ともどもご健勝でお迎えになられたことと心からお喜びを申し上げます。

昨年は、国内外で例年にも増してさまざまな出来事がありました。これらの事柄については、皆様ご承知のとおりだと思いますので、一つ一つ申し上げることはいたしません、ことしは明るい話題があふれる1年になることを願っております。

さて、昨年2月の町議会選挙から間もなく1年が経過しようとしておりますが、この間議員一丸となって議会の役目を果たすべく全力を尽くしてまいりましたが、年頭に当たり、その思いを改めて強くしているところでございます。また、議会と理事者が力を合わせて町民の目線に立って明るく住みよい町づくりを目指していきたいと思う次第でございます。

さて、本年は4月に町長選挙がございます。奥山町長におかれましては、本町の課題である財政健全化と人口減少問題などに取組み、この4年間で限られた財源を創意工夫し、財政収支の改善を図り、基金を積み上げたことや子育て支援や高齢者対策などの施策を進め、多くの成果があったものと改めて敬意をあらわすものであります。次期町政でも同様に力強い取り組みを期待するところでございます。そして、選挙後にはまち・ひと・しごと創生総合戦略や昨年策定されました第7期総合計画に沿った補正予算が提案されるものと思いますので、議会といたしましても議事機関として町民の皆様の生活を守るために慎重に審議し、その役割を果たしてまいります。

結びになりますが、議員の皆様、そして理事者の皆様の今後ますますのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、新年初議会に当たりましてのご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

以上で挨拶が終わりましたので、議事日程に従い、議事を進めてまいります。

◎議案第1号

○議長（大内兆春） 日程第3、議案第1号 平

成29年度上砂川町一般会計補正予算（第5号）について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） ただいま上程されました議案第1号 平成29年度上砂川町一般会計補正予算（第5号）について提案理由を申し上げますので、ご審議くださるようお願いいたします。

平成29年度上砂川町一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ900万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29億7,950万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成30年1月19日提出

北海道上砂川町長 奥山光一

以下、内容の説明は副町長からいたしますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長（大内兆春） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林副町長。

○副町長（林 智明） それでは、ご指示によりまして、議案第1号について内容の説明をいたします。

2 ページであります。第1表、歳入歳出予算補正。1、歳入、9款地方交付税890万円の追加で、16億5,727万1,000円となります。

1項地方交付税、同額であります。

18款諸収入10万円の追加で、9,389万6,000円となります。

5項雑入10万円の追加で、8,252万6,000円となります。

歳入合計が900万円の追加で、29億7,950万円となります。

2、歳出、3款民生費100万円の追加で、7億5,

386万9,000円となります。

1 項社会福祉費100万円の追加で、6 億6,118万8,000円となります。

8 款土木費800万円の追加で、3 億3,439万2,000円となります。

2 項道路橋りょう費800万円の追加で、1 億1,707万7,000円となります。

歳出合計が900万円の追加で、29億7,950万円となります。

事項別明細書、5 ページ、歳出でございます。このたびの補正は、大雪に伴う在宅老人等除雪サービス事業経費と除排雪経費について追加するものであります。本年度は初雪が10月24日で、11月の降雪量が127センチ、12月が242センチ、1月18日午前9時現在の降雪量が456センチとなり、昨年1年間の降雪量であります453センチを超え、年間降雪量が10メートルを超えた平成21年度、平成23年度に匹敵する降雪量となっており、降雪がふえる1月、2月の降雪量を勘案し、今後の除雪サービス並びに除排雪に万全を期するため追加するものであります。

3、歳出、3 款 1 項 1 目社会福祉総務費10万円の追加は、高齢者、身障、母子世帯の避難口確保のため門口や屋根の除雪をする在宅老人等除雪サービス事業につきまして、12月の大雪により例年申し込みのない12月に門口69回分、屋根19回分の申し込みがありましたので、冬期間の安心、安全を確保するため門口100回分、屋根18回分を追加するものであります。

8 款 2 項 1 目道路維持費800万円の追加は、除排雪経費につきまして、当初予算において効率的な除排雪体制を図るため必要経費を計上していましたが、このたびの大雪により出動基準であります15センチ以上の降雪が続いたため、12月までの出動実績は平年を大きく上回る17回となり、経費に不足を来すことから、今後1月の出動回数を9回、2月6回、3月3回を見込み、また通常年2回から3回の排雪も4回を想定し積算したところ

であります。内訳でございますが、7 節賃金で除雪車運転手賃金として203万円、11 節需用費で除排雪用重機の燃料費として45万円、13 節委託料で町内委託業者除排雪業務委託料として510万円、14 節使用料及び賃借料で排雪用ダンプ借り上げ料として42万円を追加するものであります。

次に、4 ページ、歳入であります。2、歳入、9 款 1 項 1 目地方交付税890万円の追加は、普通交付税の追加であります。

18 款 5 項 5 目雑入10万円の追加は、除雪サービス利用料を追加するものであります。

以上でございます。

○議長（大内兆春） 以上で提案理由並びに内容の説明が終了いたしましたので、これより順次質疑、討論、採決を行ってまいります。

議案第1号に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。堀内議員。

○6 番（堀内哲夫） ちょっと参考までに教えてもらいたいのですけれども、除雪運転手という項目ありますけれども、当町の重機の数は何台で、現在運転手が何人いて、足りないから、臨時運転手を雇うという趣旨ですか。

○議長（大内兆春） 三原技師長。

○建設課技師長（三原浩明） 今のご質問ですけれども、重機につきましてはショベルが4台とロータリー車2台、トラック除雪車が1台が直営の部分でございます。委託のほうで3台出動させてもらっております。そうしまして、新たに雇用するのではなくて、今現在雇用している運転手、作業員、この関係につきまして先ほど説明がございました1月9回、2月6回、3月3回という今後の出動回数を見込んだところ、当初予算より不足が生じたということでこの部分を計上させていただきました。

○議長（大内兆春） 町長。

○町長（奥山光一） 一応答弁調整のために暫時休憩願います。

○議長（大内兆春） 暫時休憩いたします。

休憩 午前10時18分

再開 午前10時18分

○議長（大内兆春） 休憩を解きまして、休憩前に引き続き会議を開きます。技師長。

○建設課技師長（三原浩明） 先ほどの雇用者数でございますが、当初予定しておりました運転手でございます。通年雇用で2名雇用しております、そのほかに季節、12月からの雇用ですね、運転手を……大変申しわけありません。ちょっと資料……

○議長（大内兆春） 暫時、ちょっと休憩いたします。

休憩 午前10時19分

再開 午前10時20分

○議長（大内兆春） 休憩を解きまして、休憩前に引き続き会議を開きます。林副町長。

○副町長（林 智明） 台数のほうは三原技師長のほうから説明したとおり7台で運行しています。そして、除雪委託につきまして今まで4社で委託をしていたのを今年度1社辞退したものですから、3社にいたしまして、それで雇用人数については町の台数、直営の運転手、通年雇用が2名と臨時が5名となっています。今までは業者が1社多くあったものですから、臨時雇用は4名だったのですけれども、今年度から5名という形でやらせていただいております。

○議長（大内兆春） 堀内議員。

○6番（堀内哲夫） わかりました。誰も質問することないものですから、住民にとって不満あるのがこの除雪問題、それなのでちょっと言わせてもらいましたけれども、建設課において排雪予定組んでやっていることは立派だと思うのです。ただ、1つ、本当に排雪はおかげさんでいいのです。ところが、一生懸命やった後がグレーダー来るんだよね、グレーダーが。ただ真ん中のかた雪をどんと置いていくのだ。あれがまた量多いのだよね。前はブルとかショベルが来て、さっささっさと取っていったの。ことしそれないのだよね。こちら

の雪せっかく投げて、雪上がったところにこの、ゴーッと来られたらちょっと負担が多いわけ。せっかく計画立ててやるのだったら無駄走りしないように、そして住民不安にならないようにちょっと考えてもらえれば町民も助かるかなと思いますので、ひとつご配慮のほどお願いします。

以上です。

○議長（大内兆春） ほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大内兆春） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大内兆春） 討論なしと認めます。

これより議案第1号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大内兆春） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号 平成29年度上砂川町一般会計補正予算（第5号）については、原案のとおり決定いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（大内兆春） 以上で本臨時会に付議されました案件につきましては全て終了いたしましたので、平成30年第1回上砂川町議会臨時会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでございました。

（閉会 午前10時24分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 大 内 兆 春

署 名 議 員 吉 川 洋

署 名 議 員 横 溝 一 成